



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

第三九一号

春分 しゅんぶん

三月二十一日

## みそぎのゆ

早いもので、暦は春分を迎えました。太陽が真東から出て、真西に沈むため、一日の昼と夜の長さが等しくなる頃です。気温も大きく上昇し、本格的な春の到来を感じます。

春は海にも変化をもたらしています。「春の潮」しほと違って、干満かんまんの差が大きくなるのです。大潮のときには河口部から潮が普段よりも上まで差してきますし、引き潮のときには広々とした干潟ひがたが見渡せ、潮干狩りのシーズンとなります。

春潮に流るる藻あり矢の如く

杉田久女

美しき春潮の航一時間

高野素牛

春潮のさ、やく島の殿づくり

阿波野青畝

俳人たちは、春潮をさまざまに詠んでいます。どれも潮の動きが感じられ、春の海の生命力に満ちています。

おかげ横丁で、潮にちなんだ入浴剤を見つけました。お伊勢参りで見ける暮らしの店「しろがね屋」の「みそぎのゆ」です。水色のパッケージには二見興玉神社おきたまから眺めた景色をイメージしたのでしょうか、カエルの顔と夫婦岩が描かれています。入浴剤は、伊勢の二見浦の夫婦岩側の海水を平釜で炊き上げた海塩を入れたもの。古くは、お伊勢参りは、清渚しみずと呼ばれる二見浦で禊みそぎを行ってから、参拝しました。

「節分など季節の変わり目に、使っています」と店のスタッフから教えてもらいました。なるほど、「みそぎのゆ」を使ってお風呂で禊の代わりができるそうです。朔日ついたちでもいいですし、日々の中でリフレッシュしたいときにもよさそうです。ちなみに、私は五節句の一つ、三月三日に使いました。さっぱりとした湯上りは、爽快です。お風呂で禊、いい習慣になりそうですね。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○『五十鈴川桜まつり』

今年も五十鈴の里に桜の季節が近づきました。

五十鈴川桜まつりでは、桜の木に舞い降りた山の神様をお迎えし、奉納芸能の披露や、団子、田楽、花見料理などをご用意いたします。

どうぞ、ごゆっくりお楽しみください。

と き／3月30日(木)～4月5日(水) 10:00～17:00

ところ／五十鈴川河川敷周辺

#### ● 桜まつり奉納演奏「邦楽の宴」

五穀豊穡を祈り和楽器アーティスト「和楽-WAGAKU-」による奉納演奏を披露します。

日 時／4月1日(土) 14:30～、4月2日(日) 12:30～

場 所／おかげ横丁太鼓櫓

料 金／無料

出 演／和楽-WAGAKU-

#### ● 野あそび棚 音楽の夕べ「春」(予約制)

春の夜桜を愛でながら、季節の料理と音楽をお楽しみください。

日 時／4月3日(月) 17:00～(食事) 18:30～(音楽会)

場 所／五十鈴川野遊びどころ 野あそび棚

料 金／6,000円(食事、音楽)

定 員／90名

出 演／岩崎良美

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○『伊勢国司北畠氏の歴史⑦』

三重県内各地に伝えられる伊勢国司北畠氏関係の古文書を読み解くことで、中世後期の伊勢で活躍した北畠氏の歴史を見ていこうというシリーズの第7回目。今回は応仁の乱を経て、いよいよ本格的な戦国時代に突入した文明年間から永正年間(1486～1515ころ)にかけて活躍した北畠具方(材親)の古文書を読みながら、北畠一族の木造政宗との対立に勝ち抜いた経緯などについて考えていこうと思います。

中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!!

と き／3月27日(月) 13:30～15:00

講 師／岡野 友彦(皇學館大学文学部長)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○『五十鈴茶屋節気菓子』

おう か  
桜 香

伊勢路は桜の名所。

咲く様も散るさまも美しく、いにしえより愛されてきた桜の花。

ほのかに漂う香りも楽しみの一つです。

はる かわ  
春の川

五十鈴川の流れて目をやれば、ほんのりと水面が桜色に染まります。

桜あんを葛寒天で包み、美しい景色を写しました。

さくら  
桜きんとん

五十鈴川の川岸も春の装い。

やさしい色合いの桜と白のきんとんで日ごとに表情を変える桜を表現しました。